

松林地区まちぢから協議会防災部会 令和7年度第8回部会議事録

【日 時】 2025 年（令和 7 年）12月5日（金）19 時～20 時30 分

【場 所】 松林公民館 2 階 第 2 会議室

【出 欠】 □細田（上赤・まちぢ会長） □小澤（上赤） ■川口（中赤）
■渡辺（下赤・書記） ■早川（下赤） ■小池（下赤・アマチュア無線）
■船越（菱沼） ■田近（菱沼） ■福井（高田） □水越（高田）とのこと
■高橋（室田・副部会長） ■花元（室田） ■中村（ニュータウン）
■加藤（ニュータウン） ■廣田（ショクサンピラ） ■宮下（ショクサンピラ）
□後藤（オクトス） ■磯部（オクトス） ■村松（オクトス・部会長兼会計）
■オブザーバー参加 戸谷（ハートケア茅ヶ崎） 計 16 名

※敬称略

議事

1. 部会長からの報告

- ・訓練の翌日（12月1日）に松林中学校町山教頭にお礼の電話を入れた。忘れ物はなし
- ・本日（12月5日）に「松林地区防災訓練補助金申請報告書」を防災対策課に提出した

2. 防災対策課 沼田氏、中山氏からの報告

- ・今回は松林中学校以外の配備職員も参加し、充実した訓練となった

3. 令和7年度松林地区防災訓練の振り返り

- ・渡辺書記作成の「令和7年度松林地区まちぢから協議会防災訓練写真集」を基に振り返りを行った

- ・部会員からの意見・気づき

○早川氏（下赤）：訓練後当日に自治会館で反省会を行い、参加者から以下の意見が出た

- ① 初めてのテーマ（「避難所開設・運営」であったが、やってよかった 続けるべきだ
- ② 「体調不良者」の動線が長いので、見直しが必要なのでは？

※現在の避難経路（西昇降口⇒美術室・被服室）はコロナ禍時に決めたものであり、松林中学校の町山教頭からも変更の案が出ている（村松部会長）

- ③ 「配備職員」が A・B・C 班と別れていたが、ピブス等に表示があった方がよかった
- ④ 「配備職員」に訓練内容に対する知識の薄さを感じた 防災対策課からの指示も曖昧
- ⑤ 「情報受・伝達」訓練に於いて、情報を受けて書く作業が難しかったが、無線機対応のイメージや避難所全体のイメージづくりは出来た

○川口氏（中赤）

- ① 初めての内容で「避難所」に対するイメージを高めることができた 来年も同テーマで行い、今回参加しなかった他の方たちにも経験して欲しい
- ② 今回は「津波避難対策勉強会」で時間を要したので、次回ではさらに内容を加えた訓練にしたい

- ③ 無線機による訓練では、時間が掛かりすぎて、C 班は戸谷氏の「救護レクチュア」や「レイアウトづくり」への参加が出来なかった
- ④ 「津波避難対策勉強会」の開始前に、村松部会長が「避難所開設・運営」に関する説明をしていたが、一部にしか伝わっていなかった 参加者全員を集めて行うべきであった
 - * 進行に遅れが出ていた為、アドリブで行ってしまった（村松部会長）
- ⑤ 「令和 7 年度松林地区防災訓練参加者数」の表記の仕方がおかしいので修正が必要
 - * 防災リーダーを含むという形式に修正をしておく（村松部会長）

○小池氏（下赤：アマチュア無線）

- ① 無線機による情報を書き留める際には「カタカナ表記」をお勧めする
- ② 送り側は、5w1H を文章毎に間を取るようにして、電文を早口で読み上げないこと
- ③ 「被災状況に関係するイラストを事前に渡してもらい、自分達で電文を作成する訓練をしたい」という要望が下赤自治会からあった

○福井氏（高田）

- ① 実際に作成された「避難者集計表」を見たかった
 - * 配備職員から渡されたものを預かっている 避難者総計 17 人 （村松部会長）
- ② 「レイアウトづくり」においてパーテーション等の「設置」は体験したが、「収納」の作業が出来なかった 次回には体験したい
 - * 「津波避難対策勉強会」の時間帯に、配備職員に収納してもらった 次回では、取り扱い説明の時間をとって、設置・収納両方の訓練をしたい（防災対策課 沼田氏）
- ④ 「物資配分」の訓練はできないか？
 - * 他の地区でも未だ実施していないが、松林中学校においては、体育館のステージが支援物資集積場所になっている また「日用品物資」の要望に女性の声を取り入れられるよう、班員に女性を配置することとしている（防災対策課 中山氏）
 - * 今回の訓練に於いては、避難所運営 展開期1（24時間頃～1週間）のSTEP1「レイアウトづくり【総務班】」までの実施とした 展開期1は、STEP2『避難所運営本部』の設置⇒STEP3 会議の開催【避難所運営本部】⇒STEP4 各班の役割【避難所運営委員会】となっており、8班の一つに「物資分配班」がある（村松注釈）

○花元氏（室田）

- ① 実施要領に訓練内容の全てが網羅されていたが、A・B・C班毎のチャートを別に作成しておいてほしかった
- ② オートディスペンサー（検温）の隣にも「平熱⇒一般避難者」「発熱⇒体調不良者」のようなプラカードを付けるとよいのでは？ また、本来 A 班が検温すべきところを、B 班がしている場面がみられた

③ 「要配慮者」向けのバンダナを採用している自治体があるので参考にしてほしい

＊愛知県小牧市役所の「災害用配慮者支援用バンダナ」（花元氏からの情報）

＊神奈川県相模原市の「災害時障害者等支援バンダナ」（後日、村松調べ）

○磯部氏（オクトス）

① 「レイアウトづくり」の際の指揮者は？

＊マニュアルによると、「レイアウトづくり」の担当は「初動期避難所運営本部」の「総務情報班」となっている 「初動期避難所運営本部」には、総務情報班・避難者対応班・施設物品班があり、配備職員を中心に学校職員、自主防災組織、防災リーダーで編成される（村松注釈）

○沼田氏（防災対策課）

① 市側からとして、配備職員 1 名を本部の村松部会長に付けた方がよかったという反省があった

② STEP 毎に各班長から本部へ報告をする体制がとれていなかった

5. その他

① 防災対策課から

1月31日（土）に「2025 年度みんなの防災展」を開催するので、今回の松林地区防災訓練の情報も取り上げたい

② アマチュア無線 小池氏から

防災無線機担当者を対象に講習会を開催したいので、後日、資料を村松部会長に送付する

③ 村松部会長から

看護師の戸谷氏には、次期から防災部会員として参加して頂きたいので、室田自治会の高橋会長の推薦をお願いしたい

以上

作成 渡辺書記
承認 村松部会長



防災部会 HP

今後の防災部会の予定

第9回 2026年 3月27日（金）19時から

松林公民館 2階 第2会議室にて